

Amir Tsarfati 氏 中東時事アップデート 2019年2月11日公開 カルバリーチャペル・イースト・アナハイムのツアーの皆さんと

.....
【Amir】 皆さん、シャローム。 アミール・ツアルファティです。こちらは、カルバリーチャペル・イースト・アナハイムのボブ・コペニー牧師です。

私たちは今、ガリラヤ湖の側の美しいリゾート地で、暖かい暖炉の隣にいます。

私たちの背後に見えるのは、グループの人たちです。皆さん、手を振ってください。

これから中東時事を短くお伝えして、その後、今日の私たちの社会について、話したいと思います。その事だけでも、私たちが今、終わりの時代を生きていることを証明しています。

では初めにお祈りをお願いします。



暖かい暖炉の前で、シャローム！

【Pastor Bob】 はい。

お父様。世界中のキリストのからだが集う機会を、感謝します。

主よ。感謝します。この終わりの時代に私たちは生き、そして、キリストの来臨にワクワクしています。

主よ。また一日与えられましたが、私たちには、あと何日あるのか分かりません。この一日を、あなたの栄光のために生きることが出来ますように。

イエスの御名によって祈ります。アーメン

【Amir】 アーメン！！

これから、現在起こっている事をいくつかお伝えします。

まず初めは、多くの人から意見を求められている件で、フランス法王と、エジプトのイスラム系組織アル＝アズハルの最高聖職者との会談が、数日前に、アブダビで行われた結果について、お話しします。

あれは、非常に異例のことで、史上初の、法王によるアラブ半島訪問です。



ザイド国王（右端）と共に、コーラン、聖書、トーラーを眺めるフランス法王（左から3人目）

このことが、法王の組織がいかに世界的宗教として、どんどん勢力をつけているかが分かります。それも、ただのヨーロッパ、もしくは、西洋社会だけではありません。

彼らが宣言した“異宗教間の契約”から、二つの部分を見てください。

「我々、神を信じ、最終的に我々は神にお会いする事、そして最後の審判がある事、その裁きは、我々の宗教と道徳的責任を元に行われると信じる者として、この文書を通して我々自身と世界の指導者達、政治家達に呼びかける。我々はさらに、国際政策、世界経済の立案者達に、寛容で平和に共存する文化を広めるため、強固に取り組むように呼びかける。早期に機会をとらえて介入し、罪のない者の血が流されるのを止め、戦争、対立、環境崩壊、そして現在、世界が直面している、道徳的及び文化的な後退を終わらせる。」

これ、見てください。まだ続きます。

「自由は、全ての人類の権利だ。(出ました)それぞれ個人が、信仰、思想、表現、行動の自由を享受する。多元論及び、宗教、肌の色、性別、人種、言語の多様化は、神の御心であり、神の知恵である。それによって、神は人類を創られた。この神の知恵は、信仰の自由と、異なる派生となる権利の根源だ。従って、人々に対する、特定の宗教や文化の強制は破棄されるべきであり、他の人々が受け入れない、文化的な生き方の押し付けも同様である。」

皆さん、仮に「エキュメニカル運動」の呼びかけというものがあるとすれば、つまり、「全ての道は神につながっている」とか、「神は、全てを受け入れられる」とか、「一つの道、一つの真理、一つのいのち」ではないなどという思想を持ち込もうとするものがあるなら、おそらく、これでしょう。

面白いと思いませんか？イエスは、明らかに、ここでは触れられてもいない。

でも、それ以外のものは全て触れられていたんじゃないかと思います。

ですから、これだけでも、私たちが今生きている、この驚くべき現実を物語っています。

しかも、これは現在、世界で起こっている事の、ほんの一部です。

世界は、水曜日のワルシャワ会議への準備が整いつつあります。

70カ国が、NATO協定の正反対であった、元ワルシャワ条約機構の首都まではるばるやって来ます。興味深い事に、トランプ大統領が、他にもなくワルシャワを巧みに選んだのには、2つの理由がありました。

① これは、“ソビエト”の目をつつくようなもので、つまり彼はこう言っているのです。

「ワルシャワは、我々の味方だ。我々は、あちらで国際平和会議を開催し、穏健スンニ派イスラム諸国のほとんどが一緒だ。」

70カ国です。

② さらに、EU 欧州連合の目も突っついているのです。なぜなら、ポーランドの首都ワルシャワは、ポーランド、ハンガリー、チェコ、スロバキアの連合、ヴィシエグラード4カ国の首都で、彼らは、現在、欧州連合の移民支持政策のほとんどに反対しています。

ですから、ヨーロッパは実際、非常に興味深いものを、目にしているのです。

そして、初めて、パレスチナとの中東の和平計画は、課題の一番最後、イランが一番の課題になりました。

イランは、招待すらされていません。

面白いのは、ロシアとトルコは、この会議全体においては脇役で、穏健スンニ派諸国が、はるばるワルシャワまでやって来るのです。それも、パレスチナについて語るためだけでなく、イスラエルが、どれほど卑怯かについて語るのでもなく、実際には、イスラエルとアメリカと共に座して、いかにして、イランの攻撃行為を止めるか、中東全体に広がるイランの拡大を止めるかを話し合うのです。これは、非常に特記すべき事です。

また、シリアでの非常に興味深い展開を目にしています。

イランは、彼らの工作の拠点をダマスカス国際空港から、はるか、砂漠の真ん中にあるT4シリア空軍基地に移しています。彼らは、理解しています。自分たちは耐えられない。あちらでは、イスラエルの空爆がひっきりなしにあり、ロシアは、イランのペテン師たちがあのエリアにいて、シリアを出入りする民間の飛行を不安定にしていることが気に入らない。従って、イランは現在、はるばる砂漠まで撤退しているのです。

もう一つ、非常に危惧しているのは、イランが、短距離弾頭ミサイルの新しい工場建設を始めた事実です。つまりこれは、彼らがイスラエルを命中出来ることを意味します。

これと同じ種類のミサイルを、イランは、イエメン国内のフーシ派に提供していて、ほぼ毎日のように、サウジアラビアを攻撃しています。ところで、サウジは流血していますよ。フーシ派のイエメン人が、ほぼ毎日、サウジの基地に侵略しているのです。

彼らは、アメリカが提供した武器を奪い、サウジの兵士たちを殺害しています。

最後に、今の時代に関する興味深い話題に移る前に、もう一つ、お伝えしておきたいのは、バッシュール・アサドの軍隊が、文字どおり分裂しているという事実です。

60%がイランに傾いていて、40%がロシアから賃金を受け取っているため、ロシアに忠実です。

ロシアとイランは、ものごとを同じようには見ていません。ロシアは、シリアの安定を求めています。なぜなら彼らは、シリアの再建を望んでいますから。彼らは、ロシアの会社がシリア再建の実をエンジョイすることを望んでいます。

対してイランは、それに関して全く関心がありません。彼らは、シーア派を広めること、イスラエルの破滅を望み、そして、テヘランからシリアを経てバイルートまで、彼らの支配力を広めたいのです。

ですから現在、我々は、利益のぶつかり合いを見えています。

ただ、ロシアは、イランと過剰にぶつかることは望んでいません。

なぜなら彼らは、イランに、彼らの武器を買ってもらい、イランの油田とガス田の開発に、ロシアの会社を使ってもらう必要がありますから。

ですから、私たちは、あちらで非常に興味深いことが起こるのを目にしています。

ということで、現在、中東で起こっていることに関して お話ししました。

次は、現在アメリカで起こっている事についてお話ししましょうか？

正直いうと、私は毎回、超リベラル民主党員をテレビで見る度に・・・あの人の名前は、何と仰いましたか？コルテス？

【Pastor Bob】はい。オカシオ＝コルテス



アレクサンドリア・オカシオ=コルテス米下院議員

【Amir】その他、あちらの精神異常者たちを見るたびに、私は、一つの結論に達します。世は本当に…何よりもまず、最初に思うのは、え?! こんなに明白なのに、彼らには見えないのか? 彼らは、非常に歪んだ形でものごとを見ている…それから、彼らは本当に見ていないんだ、と気づくのです。

【Pastor Bob】そうですね。

古い言葉に、「過去を覚えられない者は、同じ間違いを繰り返す。」

若い世代の間では、理想の国家として、社会主義に対する憧れが増しています。

【Amir】社会主義が大惨事であることは、証明されているのに。飢餓は、中国、ロシア、ベトナム、ベネズエラでさえあるのです。ベネズエラは飢えていますよ? 人々は痩せてゆき、マドゥーロ式ダイエットと呼ばれています。ベネズエラ国民のほとんどが、この3年間で、最高16ポンド(7.25kg)も体重が減っているのです。あちらには、食べ物がないから。

ものごとを違ったように見る事について、聖書は告げていませんでしたか?

【Pastor Bob】ええ。私達は、ものすごい時代に生きています。

私たち信者にとっては、キリストの来臨のしるしは、いたるところに見られ、その一つに、アミールさんと話していたのが、教会内での問題です。この何年もの間、クリスチャンたちが、いつかキリストが戻って来られると信じていながら、その観点から、人生を生きていないのです。彼らは、その教義を聖書のどこかに書いてあるものとして切り離して、彼らの生き方にその事が全く現実味を帯びていないか、あるいはその反対で、それ自体を終わらせて、道徳的にも霊的にも、彼らの生き方に、全く影響していません。

しかし、信者として私たちは、今までのどの時代よりも、最もワクワクする時代に生きています。誰も見たことのないような事を、我々は見ているのです。

私たちはそれを見て、違う生き方をしなければなりません。

【Amir】そうですね。ところで、これは、アメリカに限らず、ヨーロッパ全土でも、同様に思えます。さらにイスラエルでも、リベラルがいて、彼らの考え方は本当に理解を超えています。私たちは、同じ惑星に住んでいるとは思えません。

例えば、スウェーデンは、現在、ものすごい暴力に苦しんでいて、その90%は、国内にやって来て、放置されているムスリム移民によるものです。



スウェーデンの惨状を伝えるツイッター

レイプの件数は、500%増、その内のほぼ99%が、これらの移民の犯行です。

それが興味深い事に、彼らは、つい先日政府を結成して、何であれ、移民に関して悪い事を言う者たちを排除しました。そして、彼らが結成した政府の、16ページにわたる彼らの政策を見ると、最初の5~6ページは、全て気候変動に関する事です。国々が崩壊しそうなのですよ？なのに、気候変動です。私はずっと言っていますが、ロンドンのテムズ川は、1800年代初期に凍らなくなったのです。つまり、地球温暖化は、今に始まったことではありません。200年前に始まっていて、私たちが二酸化炭素を制限するために、化石燃料を使うとか、何をしようとか関係ありません。もしかすると、1度ぐらいは下げることにも貢献するかも知れませんが、それを止めることはありません。過去に起こったことは、将来にも起こります。地球の寒暖のサイクルは、何度も何度も起こっていることです。それは起こりますし、否定できません。しかし、それは産業改革が起こる、はるか以前に始まっています。ですから、それを西洋社会のせいにするのは、ジョークですよ。

一つ、言っておきますと、仮に、西洋社会が完全に使用を止めたとしても、中国とインドだけで、公害の90%に加担しているのです。

だから、私たちは、もう、全くわけが分かりません。

【Pastor Bob】先ほど、私たちが話していた時に、アミールさんが言っていたのは、本当に大切なことが、世からは些細な事と見られています。準備をしている時に話していましたが、罪のない者の血を流すことにしても、私の中では、罪のない者の血が流されているのが重大で、しかもそれが、世界中で起こっていて、私たちの国では毎日起こっています。

それが、リベラルの側では、全く危惧されていない。最も罪のない、これから生まれる命の権利を。それから私は、ナンシー・ペロシが言った事を考えていたのですが、彼女は、「国境の壁は道徳に反する」と言いながら、ニューヨーク・シティー、今や、ニューヨーク州では、生まれる直前まで、子供を中絶することが出来るというのが法律で、これが不道徳とは見なされず、これは権利だということです。

【Amir】ええ。私は、ある動画を見ましたが、これが、衝撃でしたよ。

ある人が、中絶クリニックの外でカメラを構えて待っていると、医者が出て来て、そこでその人が、言ったのです。

「すみません。あなたは、悔い改めるべきです。あなたは悔い改め、キリストを受け入れなければなりません。あなたがしているのは、恐ろしいことです。」

すると、その医者がカメラの前に来て、私は、悪魔が彼を通して喋ったのだと思っていますが、こう言ったのです。

「いや。私は、赤ん坊を殺すことが大好きなのだ！」

そして言いました。

「私は、絶対にキリストに立ち返らない！絶対にキリストを信じない！」

ほら、私たちが現在いる場所は、ボブ牧師、悪霊に取り憑かれた男がいた場所の、すぐ隣ですよ？すぐ後ろ…いやいや、皆さんのことではありませんよ？

このホテルのすぐ後ろは、悪霊に取り憑かれた男のいた地域です。

そして覚えていますか？悪霊が出て来て、行ったのは2000頭の豚！

それでも、この悪霊たちは、イエスが主である事を理解していて、彼を恐れていました。

しかし、悪魔の存在が今や世界中で増えています。私は、リベラルの考え方は、直接悪魔に繋がっていると思います。

【Pastor Bob】私も同感です。パウロが語っていますが、終わりの時、悪魔の教義が教えられるようになり、神が価値あると言われるものを拒絶する。パウロは、神がお与えになった食物を絶つことを命じたり、結婚することを禁じることについて語っています。

しかしこれらは、神からの賜物で、子どもは間違いなく神からの尊い賜物、神の似姿に造られた、守るべきものです。私たちは、右も左も神の価値観を拒絶する世に住んでいて、聖書は、こう告げています。終わりの時…

12 不法がはびこるので、多くの人たちの愛は冷たくなります。

(マタイ 24:12)

そして、聖書が告げていることの中でも、私が興味深いと思ったことの一つは、パウロが、終わりの時、人々は

3 情け知らずの者、

(第二テモテ 3:3)

になる、と言いましたが、

この「情け」は、まだ生まれていない子どもに対してすらないのです。

しかし聖書は告げています。「罪のないものの血が、その土地からわたしに叫んでいる。」(書記注：創世記 4:10、エレミヤ 19:4~5 参照)

【Amir】そうです！興味深いのは、多くの人知らないかも知れませんが、主がイスラエルの民を故国に連れて行った時、彼は、彼らは、そこは元々彼らの土地でないことは、認識していました。そして主が言われたのです。

「この地は、わたしが、あなたとあなたの子孫に与える。

しかし、あなた方はまず、この地にいる者たちを追い出さなければならない。」

それから、その理由を神は言われましたが、主がカナン人たちを追い出す、主要な理由の一つ、イスラ

エルの民に、そこを占領して基準を上げろ、標準を高くせよと言われた理由の一つは、罪のない子どもたちの血を流していたことです。これは、彼らの慣習でした。



モレクに子どもを捧げる

私たちは、殺人を死刑に相当する重罪とみなします。

しかし、成されているのは、毎日毎日、数え切れないほどの数の人間の殺人です。それを法律が認めている。言い換えれば…ところで、イスラエルの故国にカナン人がいた時代にさかのぼると、それは、当時、彼らの慣習だったのです。

彼らは、法を犯していたのではなく、慣習として赤ちゃんを殺していました。

彼らは、慣習として、モレクや他の神々に、赤ちゃんを捧げていたのです。彼らは、そういった事の全てを、慣習として行っていました。ですから、まるで世はそっちに戻って行っているようで、神は、黙ってはおられないでしょう。

【Pastor Bob】パウロが、人間の墮落について、ローマ書1章の一番最後、32節で語っています。

32 彼らは、そのようなことを^{おこな}行えば、死罪に当たるといふ神の定めを知っていながら、それを^{おこな}行っているだけでなく、それを^{おこな}行う者に心から同意しているのです。

(ローマ1:32)

彼らは、神が死罪に当たるといわれることを^{おこな}行う者たちを^{ようご}擁護します。

【Amir】これは、「強い惑わしの力」とも結びつくと 思いませんか？

【Pastor Bob】強く思います。

【Amir】文字どおり、彼らが「善」と呼ぶ事が「悪」で、彼らが「悪」と呼ぶものが「善」だというのが、人々には、見えていません。

【Pastor Bob】完全に逆になっています。

エペソ5章が告げていること、そのままです。私たちにとっては、ものごとが実に明白な世界に住んでいます。私が面白いと思うのはイエスのメッセージで、同様にヨハネも言っていますが、イスラエルの民に対してさえ、「悔い改めよ。」でした。

2 「悔い改めなさい。天の御国が近づいたから。」

(マタイ3:2)

イエスは、今の生活様式と、キリストが彼の御国を設けられるという事実とを結びつけたのです。神は、

裁かれます。しかしそれは、地獄に行くのを恐れながら生きるのではなく、神が、義の御国を設けられることに気付くことです。そして、この人生で、それに備えて生きる機会が私たちには与えられています。それと一致して生きる機会が。

【Amir】そうですね。それと私は、全てが個人的な主との関係にさかのぼると、本当に信じています。ほら、私たちは、つい先ほど宣言を読み上げました。クリスチャン界の指導者であるべきはずの者と、それから、ムスリム界の主要指導者の一人による宣言です。

それが、彼らの誰一人として、その宣言の中で、「真理、道、いのち」を与えなかったのです。それどころか、「道、真理、いのちは、一つである」などと言う者を非難したと言っていいでしょう。

【Pastor Bob】興味深いのは、我々の世界の指導者たち、宗教的指導者たちは、いわゆる“クリスチャン”ですら問題視しているのは、信仰を伝えること、イエス・キリストの救いに至る知識を人に伝えようとする人が、はっきりとそれを言うこと、

「それが問題だ！」と彼らは言います。

「私たちは、調和して生きなければならない。」

「互いに腕を回して、クンバイヤ！」

「ウイ アー ザ ワールド！」

そして、これはサタンで、欺きの一部です。

イエス・キリストと、彼の十字架による救い、世を贖^{あがな}う、いのちの道よりも劣るものの下に、一つにしようとしています。

【Amir】言うておきます。これは、どんどん悪化する一方です。良くなることは、ありません。

私は何も、陰気^{いんき}で縁起^{えんぎ}でもない預言者になろうとしているわけではありません。

私は預言者ではありませんし、私は、非営利団体（Non-profit/prophet）の人間ですから。

ただ、私達が次のことを理解しておくのは重要です。この種のこと全般、善を悪、悪を善と呼び、闇を光、光を闇と呼ぶ人々の生活様式は、預言者たちと新約聖書を書いた使徒たちによって預言され、前もって伝えられているのです。

私たちは、そんな時代に生きていて、驚くべきことです。

大統領が、一般教書演説の中で、人間の命の大切さについて語りましたが、多くの人が、拍手することすら拒絶していたのを見て、私は、驚愕しました。



一般教書演説するトランプ米大統領

彼は、右についても、左についても、民主党、共和党についてすら話しませんでしたし、外交政策についてすら話しませんでした。彼はただ、人間の命の神聖さについて語ったのです。そこへ、人々はまるで、「何の話をしてるんだ?」「人の命は、神聖化されるものではない。国境も。」とでも言うように、じっと座っていました。

面白かったのが、昨日、私たちがカペナウムにいた時、使徒の働き 17 章を読みましたね？パウロが、アテネの中心にいて、アテネの人々に語っているのです。

26 神は…その住まいの境界とをお定めになりました。

(使徒の働き 17:26)

つまり、国境は神のもので、神からのものなのです。

そして、興味深いのは、神のものは全て追放されていると言うか、実に軽くあしらわれている。先生は、何かおっしゃっていましたよね？

主が戻って来られることを期待して生きる事の大切さについて、少しお話ししましょう。

【Pastor Bob】はい。ペテロは、第二ペテロの手紙で、キリストが私たちに新しい天と地をくださるとき、この世界が消滅することについて語っています。これは、一時的なものなのです。そして彼は、全てが一時的なものであるという観点から、私たちは生きなければならない、と言い、それから、敬虔な生き方について語っています。そして聖書全体を通して、私は新約聖書を通して教えていると、パウロが語っていることは何でも、道德問題にしる、教会内の問題にしる、出来事にしる、何であれ、いつも、「神の御国が訪れる。王が来られる」という事実に戻って来るのです。そして私たちは自分たちの人生を、彼が戻って来られるという観点で生きなければなりません。イエスが、マタイ 24 章で、興味深いことを言っておられます。彼は、忠実なしもべと悪いしもべのたとえの中で、忠実なしもべは、イエスが戻って来られる時、賞賛され、さらに多くの責任を与えられ、主人の悪いしもべは、『主人はまだ帰るまい。』と言います。(マタイ 24:48 参照)

つまり、「今は、主が戻って来るのに備えて生きなくても良い。」ということです。

それから、(彼は)

49 その仲間を打ちたたき、酒飲みたちと飲んだり食べたりし始めていると、

50 そのしもべの主人は、思いがけない日の思わぬ時間に帰って来ます。

(マタイ 24:49-50)

裁きは来ます。それは明白です。主は、私たちがこの世で行うべき事おこなを、たくさん与えておられます。しかし主は、私たちが毎日、全ての瞬間を、彼がすぐに戻って来られるという事実の観点で生きることを望んでおられます。

【Amir】興味深いと思いませんか？あの、法王とイスラム聖職者との宣言でさえ、彼らは、裁きの日があることを認識しているのです。

【Pastor Bob】そうですね。

【Amir】そして、聖書には、人間には一度生まれることと、さばきを受ける・・・

【Pastor Bob】「人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっている…」

(ヘブル 9:27 参照)

【Amir】一度死ぬ、失礼しました。生まれるのではなく、一度死に、そして裁きを受ける。これは、もう、疑う余地のないほどで、ヨブでさえ、その事実について語っています。彼は、サタンを恐れてはいませんでした。彼は、神の裁きを恐れていたのです。彼は、それを知っていて、私たちは全員、それを念頭に置いておかなければなりません。しかし興味深いのは、キリストによって私たちは、裁きを逃れるだけでなく、私たちには永遠のいのちがあり、私たちには、この地上でも素晴らしいいのちがあって、私たちは、すぐにここを出て行きます。キリストの内にいるなら、あなたは、あの裁きを受ける必要がないのです。サタンがしていることの一つは、彼は、兄弟たちを告発する者です。そして彼は、あなたに言うでしょう。「あなたは全く変わっていない。」とか、「あなたは未だに同じだ。」とか、「お前に、天国に行くチャンスはない。」とか、「お前に希望はない。」とか言うでしょう。しかし、これらは敵から出ているものです。なぜなら、私たちは知っていますから。私たちがキリストの主権を認め、彼に従って自分たちの人生を生きた瞬間に、彼は、決して、問題や試練のない人生を約束されませんでした。事実、私はいつも言うのですが、もし、あなたが朝目覚めて、「わお！今日は、全く霊的戦いがないぞ。」と思うなら、あなたは大変な事になっている。【Pastor Bob】すっかり欺きに落ちていますよ。【Amir】ええ。霊的戦いというのは、組み込まれているもので、救われ、キリストのために生きることと、セットでついて来るものです。聖書は、忍耐強さについても語っています。つまり、走るべき競争があって、戦うべき戦いがあるということです。そして、忍耐はとても重要なのです。なぜなら、私たちがこれらの事から解放されるのは、唯一、私たちがここから出た時だけです。そして私たちは、それを楽しみにしているのです。聖書は、こう告げています。

1 こういうわけで、もしあなたがたが、キリストとともによみがえらされたのなら、上にあるものを求めなさい。

(コロサイ 3:1)

地上のものではなく、ですから、私達は、このようにして競争を走らなければなりません。それから、パウロも、キリストがすぐに戻って来られて、私たちを連れて行ってくださると期待していましたね？そして彼も、彼の生きている内にそれが起こると信じていました。

【Pastor Bob】ええ。時々「なぜ、それが私たちの生きている内に起こると分かるんだ？」という人がいますが、私たちには分かりません。ただ私たちは、それが起こることを知っています。いつか、近いうちに。そして主が、私たちが見ておくべきしるしを与えてくださっています。

使徒パウロは、テサロニケの人たちを励ます時に、それを言ったのです。

信者として死んだ人たちにに関して希望を捨てるな、と。それから、彼は、こう言いました。

17 次に、生き残っている“私たち”が、たちまち彼らといっしょに雲の中に一挙に引き上げられ、空中で主と会うのです。

(第一テサロニケ 4:17)

彼は、“あなた”とか、「その頃には、私はもうとっくに行っているから」などは言いませんでした。パウロは預言者で、神がしておられることを知っていましたし、神の御心を明らかにしていました。

しかし、彼は、知らなかったのです。そして、多分…と思ったのです。事実、彼が生きている間に、キリストが戻って来られることを望んでいたのです。

ですから、彼には間違える権利があったと言いたい。私たちも、「私の生きている間に、彼が戻って来られる」と言って、間違いになるかも知れません。

しかし、これこそが、神が私たちに望んでおられる生き方です。

【Amir】 その通り。

言い方を変えれば、私たちにメッセージを送って来られた方たち、あの、非常に多くの人から、こんなメッセージが届くのです。

「私は20年(30年、40年、50年)間、ずっと信者で、いつもキリストの戻りを待ち望んで来ましたが、それは起こりそうにありません。もしかしたら、私の生きている内には、起こらないのかも知れない。」いいですか？それは、見る方向が間違っています。

携拳が、すぐそこまで迫って来ているかのように生きなければなりません。

今日かも知れない、と。それが祈りですよ？

【Pastor Bob】 ええ。イエスは、毎日、「御国が来ますように」と祈りなさいと言われました。そして私たちは、彼が今日来られることを求め、そして、あたかも今日来られるかのようにして、私たちの人生を生きるのです。今日、来られるかも知れませんよ。今日が最後の日になれば、素晴らしいと思いませんか？

【Amir】 ええ。それから、パウロの時と違って、私たちには、それがすぐに起こると信じられる理由が、もっとたくさんあるのです。

私たちは、イチジクの木が芽吹くのを見ている世代であり、私たちは、イスラエルが故国に戻るのを見た世代です。

私たちは、新約聖書が、終わりの時の特徴としてあげている、ほぼ全てを見ている世代です。今、来週ですらなく、私たちの周辺に全てあります。そしてこれらは、イエスが弟子達に与えられたしるしです。私たちは、その日、その時は分かりません。事実、私はその日、その時など知りたくもありません。想像できますか？

私は、いつであれ、それが起こった時には、私は備えが出来ているということを、知っておきたいです。

【Pastor Bob】 アーメン！

私は、私たちの間で使われているたとえが好きですね。

「クリスマスの飾りがモールに出始めたら、感謝祭が近い。」

私たちは、起こるべきことを見はじめています。神殿の再建、イスラエルの帰還、イスラエルの繁栄の約束、記載されているイスラエルの敵が、連合を組み始めています。明らかに、携拳^{けいきよ}はもっと近いのです。主は、裁きを下す前に、来られますから。

【Amir】ですから、私たちは、パウロが見られなかったものを見ているのです。

もし、差し迫るキリストの再臨について、彼がそこまでワクワクしていたとすればなおさらのこと、私たちは、疲れてしまわず、絶望せずにいなければなりません。

パウロは、言いましたね？

「希望のない人たちのようになるな。」

なぜなら、テサロニケの人たちは、思ったのです。

「なあ、彼は、私たちは永遠に生きると言ったよね？」

「なのに、私たちの周りの人たちがどんどん死にはじめている。」

「一体どうなっているの？」

そこで彼は言ったのです。

「それは、死じゃない。ただ眠っているだけだ。」

キリストにある人には、死はもはや、何の力も持っていません。

私たちが“死ぬ”時は、ただ眠っているだけです。

8 …肉体を離れて、主のみもとにいる…

(第二コリント 5:8 抜粋)

言い換えれば、

21 私にとっては、生きることはキリスト、死ぬこともまた益です。

(ペリピ 1:21)

死は、何も恐れるものではありません。

家族の中の信者が死ぬ時、私たちには、その人にまた会う希望があるのです。対して、世は、死んだ人のことで悲しみます。彼らは、その人がどこへ行くのかさえ、知らないからです。私たちは、これらの人たちに会うことを知っています。だから、大きな希望があるんですね？

【Pastor Bob】私は、「クリスチャンには、最後の別れがない。」という言葉が大好きですね。現実には、私達は天国に行くのであって、この人生は、全て天国のためです。

あまりにも多くのクリスチャンたちが、この世の人生が全てのように振る舞いますが、私たちは、その後に来ることに希望を置いています。

私たちは、この世の視点で生きていません。現実には、私たちの国籍は天にあるのです。

この世の人生が、永遠の人生への準備だと私たちが気づいた時、これは、フルコースが出て来る前の味見です。

そして、大きな興奮を持って期待するのです。私たちは、主の元に行くのです。

私たちは皆、死にます。携挙される世代を除いては。ただ、私たちは、皆、主と共に永遠を過ごすのです。聖書は言います。

15 主の聖徒たちの死は主の目に尊い。

(詩篇 116:15)

主は、あなたが死ぬ日を楽しみにしておられるのです。もし、携挙がまだなら。

なぜなら、その日、まさに主と顔と顔を合わすのですから。

【Amir】その通り！それと、私達が携挙を説明する時でさえ、

16 …キリストにある死者が、まず初めによみがえり、

17 次に、生き残っている私たちが、たちまち彼らと一っしょに

(第一テサロニケ 4:16-17)

つまり、もし私たちが、まだ生きている間に携挙が起こるなら、私たちは、キリストにあって死んだ人
たち全員が、ピュッと先に行くのを見るのです。

私は、その時、生きていなくても構いません。なぜなら、先にあっちに行けるんですから。すごいこと
です。

さて、最後に、先生が言ったことで、私はすごく刺激を受けて、新しいメッセージを作っているの
ですが、先生は、マルティン・ルターが、終わりの期待について言った言葉を話されましたね？彼は、何と
言いましたか？

【Pastor Bob】これは、マルティン・ルターの言葉です。

「私のカレンダーには、2日しかない。それは、“今日”と“かの日”だ。」

「かの日」

言い換えれば、「私は、自分の人生をその視点で生きる。」

「私は今日を生きているが、毎日、私がフォーカスするのは、“かの日”であり、キリストが来られる日
だ。」

【Amir】アーメン！

「今日」と「かの日」これらが、最も重要な日です。

「かの日」に、主にお会いするために、今日を生きる。

そして、すぐにキリストが戻って来られるのを期待することを、恥じる理由は全くありません。そのた
めに私たちは今日を生き、そのために、私たちには今日を乗り越える力があるのです。

私たちには、希望がありますから。聖書は、こう告げています。

2 信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないでいなさい。

(ヘブル 12:2a)

そして、私たちが走る時、私たちは上を見なければなりません。

そこが、私たちが競争を終える場所です。私たちは、標的を見据えて競争を走らなければなりません。

私たちの標的は、このものではありません。上にあるのです。

ですから、この世での今、今日を、すぐにも彼の元に集められるという素晴らしく大きな期待を持って
生きることは、理にかなったことです。

それから繰り返しますが、私たちは唯一、その日が近づいているのを見ていると言える世代です。私た
ちはそれを希望するのではなく、私たちはそれを祈るのでもなく、私たちはそれを見るのを期待するの
でもなく、私たちはイチジクの木が芽吹くのを見ているのです。イスラエルで起こっていることを見て
いるのです。

私たちは、ユダヤ人が彼らの故国に戻るのを見えています。私たちは、イスラエルの地が繁栄するのを見

ています。先生が言ったように、人々はすでに第三神殿について語るのを見ています。

私たちは、イスラエルの敵がまさに聖書が告げている通りに、私たちの周りに集まるのを、見ています。

私たちは、これらの事を見ています。私たちは、その日が近づくのを見ています。

そして、

【Pastor Bob】 マラナタ！

【Amir】 そうです！

私たちは、希望を失ってはいけません。

皆さん全員が、日にちや時間を設定して、それが起こらないと希望を失うという罠に陥らないように祈ります。

だから、いつも空を見て、日食だの、月食だの、ブラッドムーンなどを見ているのは、とても危険なのです。覚えていてください。コースに留まる事、そして信者たちは、それが、本当にまもなく起こると信じていることは、非常に重要です。

その日、その時は、私たちは知る必要はないのです。聖書には、当時、イエスでさえ知らなかったと書かれています。しかし、時や季節については、

- 1 …それらがいつなのか、またどういう時かについては、あなたがたは私たちに書いてもらう必要がありません。

(第一テサロニケ 5:1)

とパウロは言います。なぜなら、

- 2 …あなたがた自身がよく承知しているからです。

(第一テサロニケ 5:2)

あなたは、時と季節をよく承知していますか？それこそが、私たちが知っておくべき事ですから。それから、私たちが知っておくべきなのは、神の御言葉を学ぶこと。私たちが本文を知っていれば、部分的に取り出すことはできません。ですから、聖書に浸り、御言葉に浸り、預言の書を読んで、彼らの言ったことを信じましょう。

イエスが弟子達に言いました。

- 25 …「ああ、愚かな人たち。預言者たちの言ったすべてを信じない、心の鈍い人たち。

(ルカ 24:25)

つまり、「あなたは、預言者たちが言った事をたくさん聞いていた。毎週土曜日に神の御言葉を聞き、シナゴークで読まれるのを聞きながら、決して信じなかった。

決してそれを真剣に受け止めなかったのだ。そして時が来て、わたしがここで、全ての預言の言葉を成就させた時、あなたがたは、わたしの訪れを逃してしまった。」

私たちが彼らと同じ過ちをしないことは、とても重要です。

聖書がそれを告げている理由は、私たちがそこから学ぶためです。

先生、最後に一言お願いします。

【Pastor Bob】 私は、アミールさんの励ましが大好きです。彼のミニストリーのために、お祈りくださ

い。神は、彼のことを新しい形で、世界中で用いておられます。
イエスを知らない人や、携挙や千年王国といった言葉を聞いたことのない人々がいます。
しかし、これらは聖書に書かれていることです。イエスは、再臨について、たくさん語られました。主は、ユダヤ人のためにそうされたのですが、私は、今度は私たちがこれを用いて、この宇宙と、私たちの時代に対する神のご計画の観点から、真実のメッセージである、福音を伝える番だと思います。ですから、彼にとって大きな扉が開かれていますので、お祈りが必要です。しかし、私がお伝えしたいのは、『御国が来ますように。』と祈るとき、聖書の最後の祈りを思い出してください。

20 …主イエスよ、来てください。

(黙示録 22:20)

【Amir】アーメン！

カルバリーチャペル・イースト・アナハイムのボブ・コペニー牧師を、覚えていてください。ウェブサイトのアドレスは何でしたか？

【Pastor Bob】Calvary Chapel East Anaheim

【Amir】“-”とか、ありませんでしたか？

【Pastor Bob】ありません。…おお！ CC-EA.org だ！

【Amir】CC-EA.org がウェブサイト、

フェイスブックは、Calvary Chapel East Anaheim 素晴らしい聖書の教えです。

あの地域にお住いの方、ヨーバリンダ、アナハイム在住の方には、素晴らしい教会です。

では、祈りをもって、終わりましょうか？ 私はヘブル語で、アロンの祝福を皆さんの上に宣言したいと思います。

私がヘブル語でしますので、先生は英語でお願いします。

ただ、私がこれをするとき、皆さんに覚えていて欲しいのは、これは、祭司たちが人々のために祈っているわけではありません。

私たちの全員が祭司であると私は信じていますから。ですから、私たちがこれをする時は、祭司から祭司です。

皆さんも、お子さんやご家族に同じ祈りで祝福することが出来るのですよ？

では、私がヘブル語で祈って、Pastor Bob が英語で祈ります。

ヴェイシエメレハー וְיִשְׁמְרֶךָ ..(主が)あなたを守られますように	アドナーイ יְהוָה 主が	イェヴァーレフハー יְבָרְכֶךָ あなたを祝福し
--	-----------------------	------------------------------------

ヴィーフネッカー וַיְחַנֵּךְ ..(主が)あなたを恵まれますように	エーレーハー אֵלֶיךָ あなたに(向けて)	パーナーヴ פָּנָיו 御顔を	アドナーイ יְהוָה 主が	ヤーエール יָאֵר 照らし
---	--------------------------------	-------------------------	-----------------------	-----------------------

シャーローム שְׁלוֹם 平安を	レハー לְךָ あなたに	ヴェヤーセーム וַיִּשֶׂם (主が)賜るように	エーレーハー אֵלֶיךָ あなたに(向けて)	パーナーヴ פָּנָיו 御顔を	アドナーイ יְהוָה 主が	イッサー יָשָׂא 上げて
--------------------------	---------------------	-----------------------------------	--------------------------------	-------------------------	-----------------------	-----------------------

(引用：牧師の書斎 <http://meigata-bokushin.secret.jp/>)

※ 連続して発音する場合は以下

イェヴァーレフハー アドナーイ ヴェイシエメレハー
 ヤーエール アドナーイ パーナーヴ エーレーハー ヴィーフネッカー
 イッサー アドナーイ パーナーヴ エーレーハー ヴェヤーセーム レハー シャーローム

【Pastor Bob】

- 24 主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
- 25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
- 26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記 6:24~26)

【Amir】 アーメン！

皆さん、ツイッターで私たちをフォローしてください。「Behold Israel」インスタグラムは「BeholdIsrael」フェイスブックのページも、「Behold Israel」 私達のウェブサイトは「BeholdIsrael.org」皆さんの声をお聞かせください。

繰り返しますが、ツイッターでは、ほぼ数時間ごとに、ニュースのアップデートをしています。フェイスブックでは、ことが起こってすぐに、フェイスブックを開いて、アップデートは出来ないのです。ツイッターが、一番簡単です。

ですから、ツイッターの「Behold Israel」で、私の名前があります。ぜひ、フォローしてください。それから、もしまだニュースレターを登録していなければ、ウェブサイトより、ニュースレターと、ディボーションレターをご登録ください。

ディボーションは、私たちがほぼ毎週アップしている Bible Bites が元となっています。

ありがとうございます。God bless you! ガリラヤ湖より、シャローム！

皆さん、ご家族にシャロームを言いましょうか？

皆、半分眠っています。今、何時ですか？ 6時半。

これから賛美をします。今から賛美の時間があって、そしてディボーションです。

God bless you! ガリラヤ湖よりシャローム！ありがとうございます。 さようなら。

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

【写真出典一覧】

暖かい暖炉の前で、シャローム！：動画より

ザイド国王と共に、コーラン、聖書、トーラーを眺めるフランシス法王：GULF NEWS “Pope Francis, Grand Imam view Louvre Abu Dhabi collection during historic visit” February 7, 2019

アレクサンドリア・オカシオ=コルテス米下院議員：Wikipedia 「アレクサンドリア・オカシオ=コルテス」

スウェーデンの惨状を伝えるツイッター：Twitter PeterSweden “This is Sweden. -Around 15 cars were set on fire in the city of Gavle tonight. -5 women sexually assaulted in Uppsala this weekend. -Also, there was 4 bombing in 24 hours… This is not the Sweden I used to know” 2019/02/12

モレクに子どもを捧げる：牧師の書斎 列王記第二 21 章「42. ユダ王国の滅びを決定づけたマナセ」

一般教書演説するトランプ米大統領：Wikipedia “2019 State of the Union Address”